

## 令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村 名	茅野市
----------	-----

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る森林づくり	修景林間整備事業
2	みんなの暮らしを守る森林づくり	森林税活用事業周知用看板作成
3	みんなの暮らしを守る森林づくり	茅野市運動公園森林整備事業
事業費 1,868,160 円 (うち支援金: 1,852,000 円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### 1 修景林間整備事業、森林税活用事業周知用看板作成

##### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

当市の民有林では、年間 100ha 程度の間伐が進められているものの、依然として森林整備の進まない場所が多くある。特に、3ha 未満の小規模個人有林では、高齢化に伴う林業離れが深刻化しており、放置林の増加や森林景観の悪化を招いている。

また、近年では、増えすぎたニホンジカによる樹木の剥皮や幼木の食害等が深刻化しており、森林の公益的機能が失われつつある。

今後は若年層の林業離れが一層加速化すると見られ、山の境界を知る高齢者も徐々に減っていくことが予想される。

##### (2) 本事業の目的

- 1 森林に対する意識や関心を高めるため、地域住民が主体となって行う森林整備を支援する。
- 2 修景林間整備事業の事業効果等を周知し、良好な森林景観への意欲や関心を高め、森林整備の一層の推進を図る。

#### 2 茅野市運動公園森林整備事業

##### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

茅野市運動公園は体育館、柔道場などの屋内施設と陸上競技場、グラウンド、バーベキュー場などの屋外施設を複数有した施設となっており、平日と休日を問わず、多くの市民や団体に利用されている。また、公園内や周辺には樹木や林もあり、休憩スペースや遊び場など森林体験の場としても活用されている。

しかし、運動公園周辺の木は樹高の高いものが多く、倒木の危険や森林景観の悪化から、樹木の管理が課題となっている。

##### (2) 本事業の目的

茅野市運動公園が、利用者にとって安心安全でより良い森林体験の場となるように森林整備を行う。

## 事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### 1 修景林間整備事業、森林税活用事業周知看板作成

(1) 実施場所 1 市内全域 2 事業実施箇所

(2) 対象者 地域住民等

(3) 実施方法

1 地域住民等が行う藪払い等による修景整備に対し  
ha 当たり 176 千円を支援する。

2 同事業実施箇所に看板を設置し、事業及び事業効果  
の普及を行う。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (H30～R3) 要整備面積：19ha

②令和2年度実績 整備面積：1.1ha

実施箇所：市内7箇所

### 2 茅野市運動公園森林整備事業

(1) 実施場所 運動公園バッティングセンター周辺

(2) 実施方法

競争入札により選定した業者へ委託する。

(3) 事業量

枯損木や倒木等の恐れのある危険木を中心に広葉樹  
7本、カラマツ13本を伐採

(事業1)



(事業1)



(事業2)



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### 1 修景林間整備事業、森林税活用事業周知看板作成

(1) 事業実施の効果

1 地域住民が主体となって森林整備に関わることで、森林に対する意識や関心を高めることができる。また、放置されていた雑木林等が除去されることで、良好な森林景観が創出され、野生鳥獣と人との適切な棲み分けが図られる。

2 看板を目にした人が事業を知り、その効果を確認することで森林景観に対する意識や関心の向上につながる。また、事業に関心を持つ人が増えることで活用の可能性が広がる。

(2) 継続性

1 複数の者が当該事業に関わることとなるため、事業実施後もその効果を維持するための自主的な取組が期待できる。また、良好な景観形成が図られることで、地域の誇りと愛着を再認識するきっかけとなる。

2 看板を設置することで、不特定多数の者に事業効果等を周知することができる。また、事業を知らなかった関係者等に対し、同事業の活用を促すきっかけとなる。

### (3) 普及性

1 道路や集落等に密接する森林において雑然とした状態が除去されることで、不特定多数の者が良好な景観を享受することができる。

2 森林整備を行うだけでなく、こういった事業により整備されたのかを明示しておくことで事業の効果がより分かりやすいものとなる。

## 2 茅野市運動公園森林整備事業

### (1) 事業実施による効果

公園周辺の森林整備を行うことにより、公園利用者が安心安全でより良い森林体験を行うことができる。

### (2) 継続性

公園周辺の森林を整備することで、森林景観や森林体験の場の環境整備に繋がり、また、枯損木による倒木等の事故を未然に防ぐ事もできるため、長期的に安全でより良い森林体験が見込める。

### (3) 普及性

運動公園周辺の森林が整備されることで、多くの利用者が良好な環境で活動を行うことができる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### 1 修景林間整備事業、森林税活用事業周知用看板作成

#### (1) 目標に対する成果の状況

1 多くの人から道路沿いの森林が綺麗になったといった意見が寄せられている。また、雑木等を除去したことで道に日が差し込むようになるなど景観面においても一定の成果を上げることができた。なお、本年度はコロナウイルス感染症により、人が多く集まって行う地域住民による森林整備が難しく例年と比べて事業量が減少した。

2 看板を実施箇所にそれぞれ設置したことで、地域住民だけでなく関係団体等からも事業への問合せが増えた。

#### (2) 課題

コロナウイルス感染症により、本年度は事業量が大きく減少したが、本事業は0.05haと比較的小さい面積から対象としており、少人数及び短時間で行える作業についても補助金の対象としている。今後はそういった同事業の使いやすい部分についてもPRしていき、整備面積を増やしていきたい。

#### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

R 3 整備予定面積 10ha (予算 1,76 千円)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

## 2 茅野市運動公園森林整備事業

### (1) 目標に対する成果の状況

施設等に影響を及ぼす恐れのある枯損木を中心に伐採を行ったことで、より安全な、森林体験の場とする事ができた。また、施設周辺の見た目についても、利用者が訪れたときに、倒木等の不安を感じないようなすっきりとしたものになった。

### (2) 課題

運動公園内の立木は樹高の高いものが多く、施設から離れているものでも倒木となった際には危険であるため、今後、伐採した分については造林を図りつつ、運動公園内全体の立木について更新していく必要がある。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

今回の事業により、バッティングセンター周辺の危険な立木については概ね伐採を行ったため。また、今後当面の間は、伐採した分の造林を図っていく必要があるため。